

ルール委員会について

2020年10月29日

一般社団法人日本ラクロス協会

JAPAN LACROSSE

JLA内での位置付け

- 日本代表プロジェクト推進委員会(NPC)、医学委員会、マーケティング委員会と同様に理事会直轄の諮問機関となります
- 指導者や選手と審判の間に位置し、客観的な視点で両者の活動をサポートします

JAPAN LACROSSE

組織体制



JAPROSSE

ROSSE

ルール委員会の目的

「ルールの側面から競技を客観的に検証し、意見発信することでラクロスの競技レベルの向上につなげる」

JAPAN LACROSSE

ルール委員会の役割

1. ルールに則ったプレー、競技特性を理解した適用の両方が適正に行われていることを検証し、発信する
2. 安全性を考慮した必要用具の検討（医科学委員会との連携）
3. 国際ルールの変更に対して日本としての意見発信
4. 国際ルール変更の国内への導入時期の検討および導入後の普及、指導、定着をJLA各部・地区現場とコミュニケーションし連携しておこなう
5. 安全性と競技レベルの向上の観点での、国内特別ルールの適用の検討

WLルールの日本への導入について

- JLAルールはWorld Lacrosseの競技ルールに準拠し、国内の競技力向上のために一部変更を加えたルールを導入しています
- WLルールの変更は2年に1度のWL総会(主に7月か8月)にて審議され、翌年の1月から導入されますが、JLAとしての意見内容について当委員会が担います
- WLでの決定後に国内への導入の時期について理事会への提言を当委員会がおこないます
- もしWLルールの変更の導入を見送る/遅らせる場合は、同時に「JLA変更ルール」を作成し、理事会に提案を当委員会がおこないます

年間活動スケジュール例

1月	2月	3月	4月	5月	6月
前年度の検証に対するフィードバック配信				新ルールを含めたリーグ戦前注意事項の配信	
WLルール変更の普及					
新ルール問い合わせ対応					
7月	8月	9月	10月	11月	12月
リーグ戦観戦によるプレーおよびルール適用状況の検証				当年度の振り返り	
WLルール変更内容決定	WLルール変更の導入時期等の検討			WLルール変更導入時期の決定と通達	次年度の活動内容決定
				新ルールQ&A準備	新ルール問い合わせ対応

JAPAN LACROSSE

活動の頻度

- 国際ルールの変更など大きな要因が無ければ、月1回程度のオンラインミーティングでの議論が中心となります
- シーズン中は、ライブ配信や会場での視察等を適宜行っていただきます
- 半期に一度程度(6, 12月)に理事会への活動報告をおこなっていただきます

JAPAN LACROSSE

WLの考え方に則った人員構成

- ラクロスは他のスポーツに比べルール委員会の人員構成が、審判員に偏っています
- アスリートファーストの考え方を強くするために選手、指導者、関係者のルールへの参画が求められています
- JLAでは指導者、選手、審判員に加え、運営経験者やラクロスOBGからも人員を募ります

大まかな人員構成

- 男女統括委員長 1名
- 男女各委員長 1名ずつ(各委員より選出)
- 男女各委員会の構成
指導者 2名、選手 2～3名、審判員 1～2名
強化部 1名、審判部 1名

※OBGおよび運営経験者は選手および審判員枠に含まれます

JAPAN LACROSSE

任期

- **委員長：1期2年、5期10年を上限とする**
基本的に男女委員長経験者から選出
担当理事兼認可、ただし最大2期4年まで
- **男女委員長：1期2年、4期8年を上限とする**
基本的に委員経験1期以上を要する
- **男女委員：1期2年、3期6年を上限とする**
 - 公募もしくは連盟、JLアカデミー、強化部、審判部からの推薦のいずれかにより選出

委員長の役割

- 男女委員会の活動状況の管理
- 男女委員会の関係各署との連携のサポート
- 部門長会議、事務協議会への出席
- 必要な場合は理事会へ出席し、意見についての説明を行う
- 男女委員会の作成した通達文のチェック
- 男女委員の選任
- 男女委員長を選任、改選および解任についての理事会審議案提出

男女委員長の役割

- 委員会のタスクの管理、関係部署との調整
- 委員会の開催と最終意見の調整
- 通達文を作成し、事務局経由で全国へ配信する
- 必要に応じて、部門長会議、事務協議会への出席、陪席
- 委員の選任および改選についてのアドバイス

委員長、男女委員長に求められるスキル

- 各委員から意見を引き出し、合意を得るためのミーティングマネジメント力
- 関係各署との連携を執るためのコミュニケーションスキル
- 公式戦を適切に開催できるようにするためのスケジューリングとマネジメント力
- 委員に均等に作業を割り振るタスクマネジメント力

各委員に求められるスキル

- ラクロス競技力向上への意欲
- 観客やメディアから見ても「面白い」スポーツであることへの意識
- 自分の立場にこだわらず必要な意見を発信する
- 相手の立場・意見/考えを尊重した議論力
- 議論の最終的な目的を理解した合意形成力
- スポーツ全般に対する知見があれば、なお良い
- 英語力は問わないが、国際ルール変更案等を自力で読解することが求められることがあります

JLA事務局の役割

- 会議日程の調整と設定
- JLA内の連携についてのアドバイス
- 議事録の作成
- 男女委員会の運営状況と関係各署との連携状況について、中立的な立場として委員長や理事会への報告

JAPAN LACROSSE